

---

## X-Analysis Advisor 操作デモ動画のご紹介

---

4/20 に「IBM i ソフトウェア資産の見える化のご紹介 (X-Analysys)」  
([https://www7.i-guazu.co.jp/support/verification/tech\\_case/report/202004\\_X-Analysis](https://www7.i-guazu.co.jp/support/verification/tech_case/report/202004_X-Analysis))として案内させて頂きました弊社 ISC で利用可能な X-Analysys デモ環境での操作例を動画にしました。

---

## 内容

---

X-Analysis Advisor 操作デモのご紹介(<https://youtu.be/JTsMaBArYkM>)は X-Analysis Adviser の主な機能である「オブジェクトの処理」と「データモデル関連」について紹介しています。動画をご覧いただくだけで実際の操作と機能が体感いただけます。

---

## ご紹介機能

---

### オブジェクトの処理

	機能	説明
1	オブジェクトの処理	選択したアプリケーションまたはアプリケーション領域内のすべてのオブジェクトのリスト。
2	オブジェクトの使用箇所	指定したオブジェクトに対するすべての使用参照のリスト。
3	一覧のエクスポート(PDF、MS WORD、MS EXCEL)	データをMS ExcelまたはPDF / MS Wordにエクスポートするオプション。
4	データフローダイアグラム	アプリケーション内のオブジェクト関係を表示するためのインタラクティブな、色分けされたパスルーティングブロック図。
5	変数の使用箇所	アプリケーション内の指定された変数のすべてのインスタンスのリスト。
6	ストラクチャーチャート	プログラム間の関係をグラフィカルに表示した図。
7	詳細ストラクチャーチャート	各プログラムで使用されるファイルとプログラム間の関係をグラフィカルに表示した図。プログラムを説明するテキストも自動生成されます。
8	階層型ストラクチャーチャート	プログラム間の関係の理解を向上させるための色分けされたパスルーティングブロック図。これにより、プログラムの階層についての正確な理解が得られます。
9	ドキュメントマネージャー	構造化されたシステム文書をPDF / MS Word形式で自動的に生成するユーティリティ。
10	ソースブラウザ	ソースコード内のシステム分析、レビュー、リファクタリング、保守、再開発に使用されるインターフェース。
11	ソースブラウザツールバー	ツールバーには、擬似コードやソースビューのレベルオプションなど、ソースブラウザ内でコードを表示するためのさまざまなオプションのリストが含まれています。

## データモデル関連

	機能	説明
1	データモデルダイアグラム	アプリケーションまたはアプリケーションエリアのファイル関連性を表示するダイアグラム
2	LF/アクセスパス	特定のファイルに関連するすべてのアクセス・パスを表示する
3	ファイルフィールド詳細	特定のファイルのフィールドの詳細を表示する
4	アクセスパスダイアグラム	特定のファイルに属するすべてのアクセス・パスを表示するダイアグラム
5	データの参照	PFに格納されている実際のレコードを表示する